

平成 29 年度事業報告

I 事業実施状況

【I ジュエリーデザインの公募に関する募集、審査、授賞対象の発表、表彰に係る事業（公益目的事業1）】

1964 年創立当初から概ね隔年で 29 回に亘り開催してきた公募展を発展させ、ジュエリーデザインのより高度な振興を図る。ジュエリーを素材価値だけでなく造形分野として、広く実作品を公募し、審査・表彰することにより我が国のジュエリーデザインの質の向上を図り、国際的な地位確立と次世代の人材育成を目的としている。平成 29 年度は、「第 30 回公募 2018 日本ジュエリー展 JAPAN JEWELLERY COMPETITION」の募集、審査を行ない、本事業及びジュエリーデザインの普及啓発を図った。

(1) 応募要項発表・審査

ジュエリーデザインの実作品による公募を一般、学生、会員を対象に行い、審査を行った。

応募内容 あらゆる素材が使用できる。装身具として着用できる。独自性を伴った質の高いジュエリー。

・一般部門 ・under26 部門（応募時点で 26 歳以下の者） ・JJDA 会員部門

選考基準 創造性があること／独創的であること／提案性があること／素材及び技術が的確であること

日程 公募開始 平成 29 年 10 月 応募登録締切 平成 30 年 3 月 9 日

作品締切 平成 30 年 3 月 23 日 審査日 平成 30 年 3 月 26 日

審査員長 小宮宇子

外部審査員 アルバン ベロワー（リシュモンジャパン(株) ヴァン クリーフ&アーペル プレジデント)

田中一雄（(株)GKデザイン機構・代表取締役社長）

外館和子（工芸評論家）

協会審査員 海野えり子／長井豊／水野薫子

応募者総数 305 名・全 645 点 入選者総数 239 名・全 571 点

部門別内訳 一般部門 応募 119 名 入選 72 名 / under26 部門 応募 61 名 入選 49 名

JJDA 会員部門 応募 125 名 入選 118 名

受賞者 大賞 1 名 松本のりこ（JJDA 会員部門）

優秀賞 2 名 / under26 部門賞 1 名 / 招待審査員賞 3 名 / 奨励賞 5 名 /

特別賞 日本ジュエリー協会賞 1 名

(2) 審査発表及び展示の諸準備

・平成 30 年 3 月に確定した審査結果を 3 月中に応募者へ通知した。

・平成 30 年度における受賞及び入選作品の展示、並びに、デザイナーの人材育成を目的として、各地区から選抜された会員によるジュエリーとそのデザイン創作の源を表現する併設展示の諸準備を行った。

展示会期 平成 30 年 6 月 16 日～6 月 21 日 会場 東京都美術館

(3) 主催・後援・協賛

・主催 (公社)日本ジュエリーデザイナー協会

・後援 経済産業省／文化庁／(公財)日本デザイン振興会／

(一社)日本ジュエリー協会／(公社)日本インダストリアルデザイナー協会／

(公社)日本インテリアデザイナー協会／(公社)日本クラフトデザイン協会／

(公社)日本グラフィックデザイナー協会／(公社)日本サインデザイン協会／

(一社)日本空間デザイン協会／(公社)日本パッケージデザイン協会／(一社)総合デザイナー協会／

日本経済新聞社

・協賛 栄光時計(株)／東京貴宝(株)／(学)水野学園 専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ

【Ⅱ ジュエリーデザインに係る調査研究及び人材育成に関する事業（公益目的事業2）】

初心者へは、デザインとものづくりの体験講座を開催しジュエリーへの関心を高めた。

中上級者へは、ジュエリーの歴史、文化に関する専門家による講演会を開催し、知識を深めることにより、最終的にプロへの道を拓くべく人材育成のステップアップ及びデザインの技術向上を図った。

また、国際的課題である知的財産権に関して、ジュエリーデザインの分野での産業財産権及び著作権等に係る諸問題を調査研究し、デザイン価値の重要性を社会に発信した。

(1) セミナー・講演会

講演会及び初心者向け体験講座並びに新素材技法実技講座を行なった。実技・体験以外の講座は、ビデオで記録し、公開の準備を行なった。

①JJDA 講座 2017「透胎七宝講座」

作品創作での色彩を表現する技術の一つとして、中級者を対象に4回に亘る透胎七宝の集中講座を開催し、透胎七宝における多彩な技法を学んだ。

会期 平成29年10月21日・11月11日・18日・25日 会場 東京藝術大学 取手キャンパス

参加者 7名 講師 前田恭平氏(東京藝術大学非常勤講師)、遠藤久美子氏(教育研究助手)、学生スタッフ

②JJDA 講座 2017 全国各地域における実技・体験講座

・東日本地区 「スマートフォンによるジュエリー撮影セミナー」

会期 平成29年11月22日 会場 エル・ソーラ仙台 参加者 12名

講師 平山彩氏(カメラマン)

・中部地区 「錫によるジュエリーの制作」講習会

会期 平成29年5月20日・21日 会場 工房カオス(大府市) 参加者 18名(各日9名)

講師 鬼頭正信氏

・西日本地区 「卒園コサージュ手作り体験」講習会

会期 平成30年1月13日 会場 かやのみ保育園(福山市) 参加者 園児27名、保護者21名

講師 立野香織氏、岩間大氏、伊藤嘉晃氏、千手あづさ氏、宇田みさ子氏(西日本地区正会員)

(2) 知的財産権の研究と推進

意匠権、著作権などジュエリーデザインにおける知的財産権に関し、その重要性をホームページ上において継続公開し普及推進した。

日本デザイン団体協議会(D-8)内のデザイン保護研究会へ参加し、「D-8 デザイン創作証」運用を推進し、ホームページへ継続掲載した。

(3) 講師派遣の実施

「第11回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト」(主催:糸魚川翡翠デザイン画コンテスト実行委員会 構成 糸魚川法人会、糸魚川商工会議所他)へ審査及び講演協力を行なった。

審査 平成29年12月13日 小宮宇子、関根正文

授賞式・講演 平成30年1月24日 小宮宇子(於 新潟県糸魚川市コミュニティーホールヒスイ王国館)

【Ⅲ 国内外の優秀なジュエリーデザインを展示及びジュエリーデザイン情報の発信をすることにより、人々の生活文化の向上に寄与する事業（公益目的事業3）】

国内各都市の展示会場で最新のジュエリーデザインの実作品を展示することにより、人々の生活文化の向上を図ることを目的とする。

日本のジュエリーデザインの世界への発信を、さらに拡大し充実させるため、海外情報の収集とJJDAからの情報発信を推進し、国際相互理解の促進に努めた。

機関誌の発行及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般に提供し、訴求活動を行なった。

(1) ジュエリーデザインの展示等による普及・啓発

① 展覧会「日本のジュエリーアート『こ・と・だ・ま』」

会期 平成 29 年 12 月 12 日～17 日 会場 ヒルサイドテラスエキシビジョンルーム（東京・代官山）
出品者 85 名

(2) ジュエリーデザインに関する海外交流及び発信

海外交流事業の拡大を見据え、アジア、欧米の諸機関とのネットワーク形成を推進し連携を図った。

ホームページ等を中心とした協会及び日本のジュエリーデザインに関する情報資料を充実させ、相互リンクの拡大を図るなど、情報の発信の体制を構築した。

① 「コンテンポラリー・アートジュエリーの表現」 シャロン・クランセン氏講演会

アメリカ在住でコンテンポラリージュエリーのキュレーターとして世界的に知名度のあるクランセン氏の講演会を通じて、海外におけるコンテンポラリージュエリーの情報収集と国際相互理解の促進を図った。

会期 平成 29 年 9 月 1 日 会場 東京藝術大学美術学部 中央棟第一講義室

参加者 110 名 講師 シャロン・クランセン氏

(3) 情報発信

機関誌及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般へ提供した。

機関誌では、事業の詳細な報告を、ホームページではタイムリーに公募事業の予告、各 JJDA 講座、展覧会等の開催に関する情報を発信した。SNS の活性化も図った。

① 機関誌「JJDA2018 No.52」A4 版 32 頁 平成 30 年 2 月発行

各地で実施された事業活動のほか、特集記事は「金型」の魅力と作品の紹介をした。

会員及び関連団体等へ広く配布するとともに、事業実施会場などで頒布した。

② JJDA ホームページの運営を充実化（継続）<http://www.jjda.or.jp>

各事業内容の更新、広報担当者による Facebook 及び twitter へのタイムリーな情報掲載を行なった。

③ ジャパンジュエリーフェア 2017（会期 8 月 28 日～30 日 会場 東京ビッグサイト東 6 ホール）において協会広報

ブース出展。協会事業の情報発信と PR を行なった。

会期中、協力セミナーとしてチタンジュエリー「魅惑の色彩とその可能性」開催

会期 平成 29 年 8 月 29 日 会場 東京ビッグサイト会議棟 6F 参加者 約 100 名

講師 小宮宇子氏(JJDA 会長)

④ プレスリリースによるメディアへの働きかけを強化した。

⑤ ジュエリーデザインに関するデータベース構築

協会保有の各種データベースを更新完備し全事業へ活用した。

【IV その他事業】

(1) 会員相互の交流事業

会員相互の交流を活発化し、長年在籍する会員から若年層への創作技法の伝承、見学会などを通して情報交換を行った。

① 関東地区 「鉄の溶接で小物作り」セミナー

会期 平成 29 年 10 月 6 日 会場 Fe★NEEDS WELDERSPOINT 工房(鎌倉市) 参加者 関東地区会員 12 名

講師 Fe★NEEDS WELDERSPOINT スタッフ

②近畿地区 「糸魚川ヒスイ採取体験」

会期 平成 29 年 6 月 11 日 場所 新潟県糸魚川市 参加者 16 名 (近畿・関東地区会員)

③「ジュエリー作品のデジタル写真講座」

会期 平成 30 年 1 月 27 日 会場 新富区民館(東京・中央区) 参加者 24 名

講師 下村孝氏 (カメラマン)

④JJDA の歴史及び写真の記録のための資料収集を行なった。

(2) 国際公募展に向けての検討

会員に向けてアンケートを実施し、今後の参考資料とした。

(3) 会報「FROM JJDA」7 回発行 「メルマガ from JJDA」23 回発行 事務局編集・発行

各委員会、事務局よりの事業準備及び報告情報を会員へ速やかに伝えた。

(4) 内外ジュエリーデザインに関する関連団体との連絡及び協調

①デザイン関連団体会議出席及び協力

◇日本デザイン団体協議会 (D-8)

・運営会議

運営会議委員に小宮会長、青木専務理事就任

第 43 回平成 29 年 8 月 1 日／第 44 回平成 30 年 1 月 30 日 小宮会長、青木専務理事

・デザイン保護研究会

デザイン保護研究会委員に山田 (直広) 調査研究部会長 (継続)、長井理事、山崎理事就任 (新任)

平成 29 年 10 月 12 日／12 月 6 日 山崎理事、山田 (直広) 調査研究部会長

・ジャパン デザイン ミュージアム設立研究委員会

ジャパン デザイン ミュージアム設立研究委員会委員に大場監事、野元監事、西澤 JDM 部会長、菅沼 JDM 委員、高橋 (まき子) JDM 委員、高橋 (なほ子) JDM 委員 (継続)、管理事就任 (新任)

平成 29 年 6 月 26 日 管理事、西澤 JDM 部会長／7 月 19 日 西澤 JDM 部会長

9 月 20 日 管理事、高橋 (なほ子) JDM 委員／10 月 25 日 管理事、西澤 JDM 部会長／11 月 21 日 管理事

12 月 19 日／平成 30 年 2 月 14 日 管理事、西澤 JDM 部会長

・広報委員会

広報委員会委員に内田理事、山崎出版委員 (継続)

平成 29 年 4 月 20 日 内田理事、山崎出版委員

◇中部デザイン団体協議会 (CCDO)

・理事会

中部デザイン団体協議会理事に荒川理事、副理事に水野中部地区部会長 (継続)

平成 29 年度第 3 回平成 29 年 6 月 22 日／第 4 回 10 月 11 日／第 5 回平成 30 年 1 月 17 日 荒川理事

・定時総会 平成 29 年 7 月 1 日 荒川理事

②国内外の諸団体の事業への後援・協賛・協力

◇後援事業

<開催日>

<事業名>

<主催>

平成 29 年

～平成 30 年 1 月 14 日	国際漆展・石川 2017	国際漆展・石川開催委員会
4 月 5 日～6 日	第 46 回甲府ジュエリーフェア	山梨県水晶宝飾協同組合
5 月 25 日～6 月 3 日	World Interiors Week 2017 in JAPAN	(公社) 日本インテリアデザイナー協会
6 月 14 日～16 日	インテリアライフスタイル 2017	メサゴ・メッセフランクフルト(株)
6 月 15 日～21 日	第 23 回ジュエリーデザイナーズ展	(株)京王百貨店 新宿店

7月8日～9月3日	愛のヴィクトリアン・ジュエリー 華麗なる英国のライフスタイル 山口県立萩美術館・浦上記念館
8月～12月24日	2017伊丹国際クラフト展 主題『ジュエリー』 (公財)いたみ文化・スポーツ財団
8月28日	香港・中国ジュエリーセミナー 香港貿易発展局
8月28日～30日	ジャパンジュエリーフェア 2017 (一社)日本ジュエリー協会/UBM ジャパン(株)
9月～平成30年1月	第11回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト 糸魚川翡翠デザイン画コンテスト実行委員会
10月7日～14日	第51回日本七宝作家協会展 (公募) (公社)日本七宝作家協会
11月4日～5日	2017糸魚川翡翠・ミネラルフェア 糸魚川翡翠鉱物展実行委員会
11月7日～8日	第19回福岡デザインアワード 福岡県産業デザイン協議会
11月20日～22日	IFFT/インテリア ライフスタイル リビング 2017 メサゴ・メッセフランクフルト(株)
12月～平成30年2月	高校生デザインコンテスト 2018 (学)水野学園 専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ
12月3日～10日	日本・アジア学生パッケージデザインコンペティション「ASPAC AWARDS 2017」 (公社)日本パッケージデザイン協会 / (一社)アスパック協会
12月12日～19日	Next Eco Design展 2017:TOKYO STYLE (公社)日本インダストリアルデザイナー協会
<u>平成30年</u>	
2月15日	The Day Beyond the KU/KAN Design 空間デザイン機構
3月3日～11日	ミュニック・クリエイティブ・ビジネス・ウィーク (MCBW) 2018 MCBW2018年度パートナー国日本実行委員会
◇協賛・協力事業	
<u>平成29年</u>	
～8月30日	JJA ジュエリーデザインアワード 2017 (一社)日本ジュエリー協会
～10月8日	銀粘土でつくるシルバーアクセサリコンテスト 2017 (一社)楽習フォーラム推進協議会/アートクレイ倶楽部
8月30日～9月2日	第84回東京国際ナショナル・ギフト・ショー秋 2017 LIFE×DESIGN (株)ビジネスガイド社
9月6日～8日	第84回東京国際ナショナル・ギフト・ショー秋 2017 (株)ビジネスガイド社
9月21日～22日	第58回大阪国際ナショナル・ギフト・ショー秋 2017 (株)ビジネスガイド社
12月14日～24日	光と音のシンフォニー ライティング・オブジェ 2017 ライティング・オブジェ制作委員会
<u>平成30年</u>	
1月31日～2月3日	第85回東京国際ナショナル・ギフト・ショー春 2018 LIFE×DESIGN (株)ビジネスガイド社
2月7日～9日	第85回東京国際ナショナル・ギフト・ショー春 2018 (株)ビジネスガイド社
3月14日～15日	第59回大阪国際ナショナル・ギフト・ショー春 2018 (株)ビジネスガイド社
③デザイン関連団体及びジュエリー関連団体との交流	
7月4日	(一社)日本ジュエリー協会 JJA ジュエリーデザインアワード 2017 作品審査会 小宮会長
7月25日	経済産業省・(株)Too D-8「JAPAN DESIGNERS」サイトについて面談 小宮会長、青木専務理事
8月2日	(株)六耀社 児童図書面談 小宮会長、青木専務理事

8月28日	(一社)日本ジュエリー協会/UBM ジャパン(株) JJF 開会式、JJA ジュエリーデザインアワード 2017 表彰式	小宮会長
9月26日	東京貴金属工芸品工業協同組合 第107回貴金属宝飾品装身具創作コンクール審査会	小宮会長、青木専務理事
10月3日	東京貴金属工芸品工業協同組合 第107回貴金属宝飾品装身具創作コンクール表彰式	青木専務理事
10月6日	アートクレイ倶楽部 第15回銀粘土でつくるシルバーアクセサリーコンテスト授賞式	小宮会長
10月7日	(公社)日本七宝作家協会 第51回日本七宝作家協会展授賞式	小宮会長
11月2日	(株)ジュエリーアセットマネジャーズ面談	関根副会長、青木専務理事
11月14日	(株)ジュエリーアセットマネジャーズ面談	関根副会長、青木専務理事
11月18日	(公財)いたみ文化・スポーツ財団 伊丹市立工芸センター 2017 伊丹国際クラフト展 “ジュエリー” 表彰式	英比理事
11月20日	パナソニック汐留ミュージアム面談	関根副会長、青木専務理事
12月13日	糸魚川翡翠デザイン画コンテスト実行委員会 第11回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリーデザイン画コンテスト審査会	小宮会長、関根副会長
12月14日	ライティング・オブジェ制作委員会 ライティング・オブジェ 2017 点灯式	関根副会長、青木専務理事
平成30年1月6日	(公社)日本クラフトデザイン協会 第57回日本クラフト展ークラフトNEXTー 授賞式	関根副会長
1月12日	(株)Too 面談 (D-8「JAPAN DESIGNERS」サイト運営会社)	小宮会長、青木専務理事
1月24日	リードエグジビションジャパン(株)／(一社)日本ジュエリー協会 第29回国際宝飾展 IJT2018 開会式	小宮会長
1月24日	糸魚川翡翠デザイン画コンテスト実行委員会 第11回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリーデザイン画コンテスト表彰式	小宮会長
2月23日	(株)ジュエリーアセットマネジャーズ面談	小宮会長
3月14日	(株)ジュエリーアセットマネジャーズ Aidect Jewelry Design Award 2018 表彰式	小宮会長、関根副会長、青木専務理事

④(株)六耀社発行の図書館向け児童書「時代をつくるデザイナーになりたい!! ジュエリーデザイナー」の制作のための取材協力を行なった。
協力会員 小宮宇子、青木敦子、栗原悠、稗田麻琴(正会員4名)

【V 管理等】

(1) 会議開催

①総会開催 平成29年5月30日

②部会長会議開催 平成30年1月19日

(2) 諸規定の整備

(3) 会員情報データベースの整備を行なった。

(4) 会員章碑の作成

(5) JJDA 講座のDVD貸出

(6) 協賛店の整備 現協賛店へ継続協力依頼の準備を行なった。

(7) 正会員・賛助会員入会促進の検討

- (8) 一般への情報提供サービスの検討
 (9) 予算書・決算書作成
 (10) 会費納入の徹底
 ・会費の口座引落による分割納入手続きを継続導入した。

II 会議開催状況

		期 日	会 場	出席数
1. 総会	第6回定時総会	平成29年5月30日	東京国際フォーラムカラス棟会議室 G402	246名 (本人出席49名、委任状出席197名)
2. 理事会	第32回定例理事会	平成29年4月20日	JJDA事務局会議室	理事13名・監事2名
	第33回臨時理事会	〃 5月30日	東京国際フォーラム会議室	理事16名・監事2名
	第34回定例理事会	〃 7月24日	JJDA事務局会議室	理事16名・監事2名
	第35回定例理事会	〃 10月17日	JJDA事務局会議室	理事15名・監事2名
	第36回定例理事会	平成30年1月23日	JJDA事務局会議室	理事15名・監事3名
	第37回臨時理事会	〃 2月23日	JJDA事務局会議室	理事17名・監事1名
	第38回臨時理事会	〃 3月13日	JJDA事務局会議室	理事16名・監事2名
3. 部会長会議	第1回部会長会議	平成30年1月19日	中央区立女性センター「ブーケ21」研修室2	22名
4. 委員会・部会	<開催日>		<場所>	
公募展部会	4/12、6/27、7/18、8/29、9/22、11/28、2/21、3/20		JJDA事務局会議室	
調査研究部会	4/5、5/10、6/14、7/12、8/23、9/20、11/16、1/25、3/29		JJDA事務局会議室	
展覧会部会	4/5、5/15、6/12、7/10、7/19、8/2、8/31、9/12、9/27、10/5、10/15、11/16、11/22、12/4、12/8、 12/21、1/31		JJDA事務局会議室	
広報部会	6/19、7/12、8/31、9/14、11/9		JJDA事務局会議室	
出版部会	6/13、7/5、7/20、10/10、10/18、11/5、12/13、1/17		JJDA事務局会議室	
海外交流部会	6/22、2/1		JJDA事務局会議室	
アーカイブ部会	5/17、6/15、7/26、1/30		JJDA事務局会議室	
活動促進部会	6/16、8/1、9/26、11/7、1/15、3/14		JJDA事務局会議室	
総務・財務部会	4/11、5/9、6/16、9/13、2/7、2/28、3/8		JJDA事務局会議室	
東日本地区部会	7/31、2/1		波奈(はな)仙台店	
関東地区部会	6/13、1/29		JJDA事務局会議室	
中部地区部会	1/28		AOIcafe	
近畿地区部会	2/2		大阪南船場会館	
西日本地区部会	1/31		かやのみ保育園会議室	
JDM部会	6/20、8/22、10/19、12/11、1/18、2/6、3/8		JJDA事務局会議室	
(臨時)国際公募準備委員会	6/19		JJDA事務局会議室	

Ⅲ 平成 29 年度会員異動状況

会 員 別	平成 29 年 4 月 1 日	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日		平成 30 年 3 月 31 日
		入 会	退 会	
正 会 員	380	11	40	351
賛 助 会 員	26	1	1	26
名 誉 会 員	4	1	-	5
合 計	410	13	41	382

【入 会】（平成 29 年度入会承認）

◇正会員

浅井美樹、遠藤仁美、田中千尋、富澤恵子、名取絵美、坂東公美子、福西是貴、松本浩美、宮永ゆみ、
矢島治子、横山祥子

◇賛助会員

岩倉靖典

【退 会】

◇正会員

阿部信子、石垣昭子、小穴益子、小畑幸子、曾良真由美、加藤弘子、鴨下容子、川北記庸子、河西志保、
北川愛子、熊谷真弓、小林和貴子、小森梓、神宮司祐、神宮司千代子、杉井恵子、須磨富美杷、高橋あさか、
高橋恵子、千葉妙子、仲剛司、中谷昭子、野村千恵、平井拓也、藤井襟子、布留川博代、町田義信、松井智子、
松平由紀子、水野誠子、緑川裕子、村田知子、森尚子、八木仁美、山崎藍子、山中さゆ子、結城万紀子、
鷺見伸子

◇賛助会員

(株) MI

【物 故】

◇正会員

星文子（平成 29 年 10 月 31 日逝去）

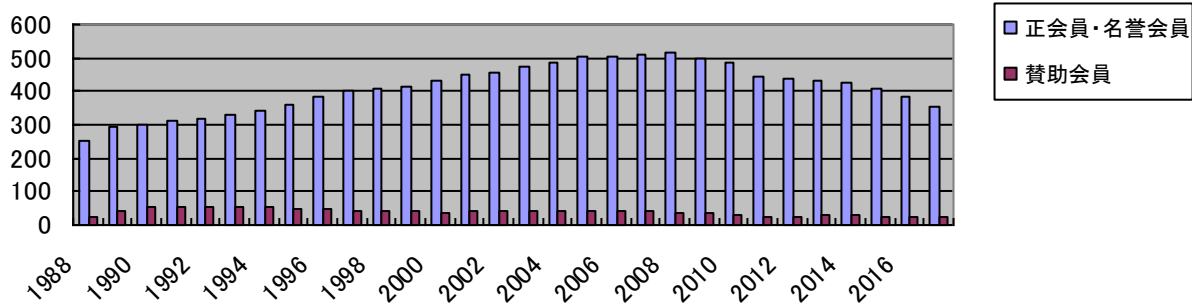
IV 会員数推移

(社団法人化以降)

年度末	正会員	賛助会員
昭和 63 年	252	24
平成元年	294	44
平成 2 年	300	56
平成 3 年	315	56
平成 4 年	320	54
平成 5 年	332	54
平成 6 年	343	52
平成 7 年	363	50
平成 8 年	382	47
平成 9 年	402	43
平成 10 年	408	41
平成 11 年	417	41
平成 12 年	434	39
平成 13 年	453	41
平成 14 年	459	44
平成 15 年	475	44

平成 16 年度より名誉会員含む

年度末	正会員・ 名誉会員	賛助会員
平成 16 年	485	42
平成 17 年	503	42
平成 18 年	505	42
平成 19 年	513	43
平成 20 年	519	39
平成 21 年	501	35
平成 22 年	488	31
平成 23 年	445	27
平成 24 年	439	26
平成 25 年	432	29
平成 26 年	427	31
平成 27 年	406	27
平成 28 年	384	26
平成 29 年	356	26



平成 29 年度事業報告には、附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

(平成 30 年 3 月 31 日現在)